

学習のまとめと表現

～第3章 中世の日本と世界～



中世の時代の移り変わりを確かめよう。

1

- | | | |
|-------------|------|------|
| Ⓐ 武士 | Ⓑ 執権 | Ⓒ 仏教 |
| Ⓓ 元軍の襲来（元寇） | Ⓔ 建武 | Ⓕ 守護 |
| Ⓖ 勘合（日明） | Ⓖ 自治 | Ⓖ 応仁 |
| Ⓙ 下剋上 | | |

2

- | | |
|----------------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| たいらのきよもり
平 清盛
(例)平治の乱, 平氏の政治,
日宋貿易 | みなものよりとも
源 頼朝
(例)平治の乱, 源平の争い,
鎌倉幕府の成立 |
| ほうじょうまさこ
北条 政子
(例)執権政治, 承久の乱 | ようさい
栄西
えいさい
(例)禅宗, 新しい仏教 |
| しんらん
親鸞
(例)新しい仏教, 一向一揆 | フビライ=ハン
(例)文永の役, 弘安の
役, 元軍の襲来（元寇） |
| ごだいごてんのう
後醍醐天皇
(例)鎌倉幕府がほろぶ,
建武の新政, 南北朝の内乱 | あしかがよしみつ
足利義満
(例)南北朝の統一,
勘合（日明）貿易, 金閣, 能 |
| たけだ しんげん
武田信玄
(例)戦国大名の領国支配,
下剋上 | せつしゅう
雪舟
(例)水墨画, 禅宗 |



中世の舞台を地図で確かめよう。

3

a b c d e

f g h i



中世の政治や文化について説明しよう。

4

(例)将軍は、御家人に対して領地を保護したり、守護や地頭に任命したりして御恩をほどこした。それに対して御家人は、将軍の命令に従い、戦いなどに加わる奉公をもってこたえた。このように、土地を仲立ちとして結ばれた主従関係を封建制度という。

5

(例)民衆が田植えや神社の祭りなどで演じていたこっけいな劇(猿楽)や歌や踊り(田楽)をもとに、舞台芸術に発展したものが能(能楽)である。足利義満の保護を受け、観阿弥と世阿弥が大成させた。



中世の時代の特色を考えよう。

6

①②

	古代	中世
政治 (例)	<ul style="list-style-type: none"> ・天皇や貴族が中心になり、政治を行う。 ・中央集権的な国家のしくみが整う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・武士が台頭し、幕府を開いて政治を行う。 ・やがて下剋上の風潮の中で、戦国大名が支配をめぐって互いに争う戦国時代が訪れる。

	古代	中世
外国との関係 (例)	・ 渡来人や遣唐使によって、大陸の文化や技術が伝わる。	・ 宋との交流が、鎌倉時代の仏教や文化に影響を与える。 ・ 14世紀に入ると、朝鮮半島や中国の沿岸で海賊をはたらく倭寇が現れる。 ・ 日本と明の間では、勘合を用いた勘合貿易が行われるようになる。
文化 (例)	・ 大陸の文化に影響を受け、仏教が天皇や貴族に信仰される。 ・ 大陸の文化を吸収し、しだいに日本独自の文化が生まれる。	・ 宋に渡った僧が禅宗を伝える。 ・ 禅宗が、鎌倉幕府・室町幕府の保護を受けながら広まる。 ・ 民衆の間では、七夕などの現在の文化につながる行事が行われるようになる。

③ (例) 武士が台頭し、それまで貴族が独占してきた政治や文化の面でも影響力を強めた。

7 中世は ((例) 武士が主役に躍り出た時代)
理由: (例) それまで政治や文化を独占してきた貴族に代わって、台頭してきた武士が幕府を開き、政治や文化でも影響力を強めた時代だったため。

時代の変化に注目しよう!

① ● ^{ていたく}邸宅を建てた人物 足利義満

● ^{ぼくふ}幕府の場所はどのように変化したといえるか

(例) 室町幕府の御所は、京都に邸宅として建てられている。それに対して、江戸幕府の江戸城は、江戸に建てられ、天守や堀が築かれて要塞としての機能を備えている。

② (例) ・ 貨幣をつくる技術が向上したからではないか。
・ 中世では、貴族から武士へと政治の中心が移っていくなかで、貨幣に信用をもたせられる安定した権力が現れなかった。それに対し、近世では、つくった貨幣に信用をもたせられる強固で安定した権力が現れたのではないか。

掲載されている解答は、一つの例です。
自分の解答が正しいか気になった場合は、先生に質問してみましょう。



まっぴんぐま